

科目名 Course Name	日本語Ⅱ Japanese II						
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	田村眞依子						
連絡先(質問等)	本館 3F 研究室か、メール、LINE で対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	必修(留学生のみ。日本人は受講不可。)						
関連 DP	DP1,DP2,DP6						
授業の概要と到達目標	大学での講義を聞いて概要が正しく理解できる。 講義や発表の概要をつかみ、日本語でノートを取り、まとめることができる。						
授業の方法	CD を 2 回聞き、問題 A に取り組む。再度聞き、問題 B、C に取り組む。グループワークで互いの回答を確認した後で、代表者が発表。全員でスクリプトを見ながら確認する。残りの時間で問題 D に取り組み、終わらなかつたら次回までの課題とする。						
学習成果	L01	大学の講義や発表の中で未知語があっても類推しながら概要を把握できる。 その内容を日本語でノートにまとめることができる。					
	L02						
	L03						
	L04	グループワークに参加し、互いの意見を述べ合うことができる。必要に応じて理由を述べることができる。他の意見も尊重し、話し合っ、より良い解答を見出すことができる。					
課題に対するフィードバック	小テストや期末試験後には模範解答を示し、試験結果は授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解(中級)』(スリーエーネットワーク)						
履修上の留意点やルール等	指定されたクラスで履修すること。特に事後学習が必要となり、費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験	6 年(海外 3 年、国内 3 年)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品	各課毎に設定された問題 D に取り組んだ後、必ず教員のチェックを受けること。誤字脱字や接続表現の間違がなく、内容が合っていれば満点を与える。	10			
発表					
小テスト	毎時間 10 分程度の小テストを行い、前回の内容が理解できているか確認する。1 問 1 点で 10 問程度出題。満点の条件は、誤字脱字なく、正しい文法が使用できていることである。毎回の得点の合計を実施回数で割り、総合評価の 20%とする。	20			
試験	学期末に聴解問題を主とした筆記試験を行う。選択問題以外に、記述問題もある。満点の条件は、誤字脱字なく、正しい文法で、求められた内容について解答できていることである。				70
その他					
合計		30			70

回数		授業計画
1	授業内容	第1課 富士山
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
2	授業内容	第2課 信号の話
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
3	授業内容	第3課 隠れキリシタン
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
4	授業内容	第4課 水族館
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
5	授業内容	第5課 ゴリラの食事
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
6	授業内容	第6課 東京の温泉
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
7	授業内容	第7課 失敗学
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
8	授業内容	第8課 札幌のお祭り
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
9	授業内容	第9課 津軽三味線
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
10	授業内容	第10課 メール書き方
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
11	授業内容	第11課 アクセント
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
12	授業内容	第12課 からくり人形
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
13	授業内容	第13課 四つ葉のクローバー
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
14	授業内容	第14課 長寿の理由
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D
15	授業内容	第15課 長崎の猫
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 D